

第42回 高仁会学会

テーマ 『精神科イノベーション — 当会独自の創造性を— 』

- 日 時 平成28年11月9日(水) 9:00～17:00
- 会 場 戸田病院コスモスホール
- 学会長 高橋 太郎(医療法人高仁会理事長・川口病院院長)
- 司 会 矢内 好(川口病院 事務長心得)

【 プ ロ グ ラ ム 】

1. 開会の辞 矢内 好 事務長心得
2. 名誉会長挨拶 高橋 正和 名誉会長
3. 学会長挨拶 高橋 太郎 理事長

第1部 研究発表 I

9:15～9:57 発表(各7分)

座長 稲垣 千枝子(看護部長)

演題	演者
1 慢性期病棟から開放病棟転棟に向けた取り組み ～生活自立度チェックシートを活用して～	戸田病院第3病棟 ○脇田裕一郎、田口克也、静野勝博、石田清子、井口喬
2 個別看護の充実と環境整備 ～昨年の暴力減少への取り組みの先に見えたもの～	川口病院西3階病棟 ○齋藤海、松田優介、本田剛士、川島正裕、有泉洋子、高橋太郎
3 認知症患者の身体拘束早期解除に向けて ～バリデーション技術を取り入れた取り組み～	戸田病院認知症病棟 ○高橋真輝、望月理生、渡邊智美、渡辺啓一、朱田サナエ、石田清子、井口喬
4 口腔ケアの実施方法改善についての一考察	戸田病院第4病棟 ○山崎涼太、富永勉、山崎典昭、荻野一彦、石田清子、井口喬
5 オムツ使用患者に対する排泄ケア ～看護の質向上と業務の改善～	戸田病院第7病棟 ○上村美貴、岩戸祐樹、早乙女ゆう子、石田清子、井口喬
6 患者様が抱えている問題と一緒に向き合う ～排便コントロールを実施して、個々のニーズに応えるには～	戸田病院静養病棟 ○石井文世、松山真弓、高橋絢子、深谷由香、石田清子、井口喬

9:57～10:02 質疑応答(5分)

10:02～10:07 休憩(5分)

第2部 研究発表 II

10:07～10:49 発表(各7分)

座長 石田 清子(戸田病院副院長兼総師長)

演題	演者
7 行動制限ゼロ化と重大事故ゼロ化への取り組み ～様々な取り組みから見えた原点～	川口病院東3階病棟 ○新関智也、松山良、佐藤裕介、本多猛、有泉洋子、高橋太郎
8 チェックシートを用いた身体拘束患者への統一した看護介入 ～医師との共有による行動制限期間最小化と合併症予防を目指して～	戸田病院第1病棟 ○山崎祐太、尾崎翔太、飯塚基樹、石田清子、井口喬
9 行動制限長期化した患者への関わり	戸田病院第5病棟 ○田代和人、岩崎純一、大塚京子、内山きよみ、石田清子、井口喬
10 情報提供を目的とした退院前訪問看護	川口病院1階病棟 ○笠置亨子、横山純、佐藤悦子、有泉洋子、高橋太郎
11 体力増進、社会的背景を考慮した生活向上、退院に向けた個別支援 ～フィジカルトレーニングを継続し、ラスミーで評価を行って～	戸田病院第6-3病棟 ○山縣武典、斉藤真美、垣塚尚子、吉川大輝、石田清子、井口喬
12 退院支援を行うシステムの構築に付いて	戸田病院第2病棟 ○本橋大樹、三ツ木玲子、竹田享代、古山敏康、石田清子、井口喬

10:49～10:54 質疑応答(5分)

10:54～10:59 休憩(5分)

第3部 研究発表III

10:59～11:41 発表(各7分)

座長 有泉 洋子(川口病院総師長)

	演題	演者
13	精神科外来でダイエット外来をはじめて～症例を通して看護師の役割を考える～	川口クリニック外来 ○川井めぐみ、皆川佳子、山登幸子、柴田勲
14	日中活動と服薬意識の関係性について	戸田病院グループホーム ○川上竜之、佐藤純一、江川由布子、石田清子、井口喬
15	デイケアメンバーの自己認知の変化～主体的活動の支援を通してみえてきたもの～	川口クリニック デイケア ○遠藤裕史、道下裕香、田尻朋子、横山弘美、柴田勲
16	プログラム導入後の利用者の変化と効果について～絵画教室の成果から治療効果と継続医療を深める～	戸田病院デイケア ○濱田芳佳、古久保桃子、宮坂恵子、石田清子、井口喬
17	地域医療連携における入院受入プロセスの革新による結果と考察	戸田病院地域医療連携室 ○西本享司、村岡飛鳥、田中麻衣子、大野等、高島三佳、小原由久、井口喬
18	診療報酬改定に伴う外来向精神薬多剤投与解消への取り組み～処方内容変更の分析と追跡調査から分かったこと～	戸田病院薬局 ○湖山武、中川知之、深谷由香、新村郁子、井口喬

11:41～11:45 質疑応答(5分)

11:45～12:50 - 昼休み -

※12:20～12:45 ポスターセッション

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1.「お楽しみ献立」の提供までの取り組みについて | 戸田病院 栄養課 |
| 2.疾患理解を通じた不安の軽減を目指して | 戸田病院 作業療法室 |
| 3.診療費請求の課題と対策について | 戸田病院 事務課 |
| 4.アセスメントツールとしてのS-HTPの検討 | 戸田病院 心理室 |
| 5.服薬アドヒアランス獲得に向けた介入方法の検討 | 川口病院 西2階病棟 |
| 6.長期入院患者に対する退院支援とその関わり | 川口病院 地域医療連携室 |
| 7.統合失調症またはうつ病で肥満がある方の食事内容の調査 | 川口病院 栄養課 |
| 8.物品発注の流れについて | 事業サポートセンター総務部 |

第4部 研究発表IV

12:50～13:25 発表(各7分)

座長 田上 清乃(コスモス苑 生活ケア部長)

	演題	演者
19	未収金の回収及び新規発生の防止への取り組み	川口病院事務課 ○渡邊淳一、胤森浩二、矢内好、高橋太郎
20	男性閉鎖病棟における作業療法の新しい取り組み～室内体操プログラムにおける患者への効果～	戸田病院作業療法室 ○境秀之、原田玲央奈、市村精司、井口喬
21	作業療法における退院支援への取り組み～調理訓練とSMSFの推移からみたWRAPの必要性について～	川口病院作業療法室 ○富田学、最上亜加理、西澤秀哉、福田裕人、伊藤文、高橋太郎
22	生活課題の解決を目指すリハビリ～生活行為向上リハビリテーションを支える作業療法士の役割と求心力～	コスモス苑生活ケア部 ○室井孝夫、長谷光照、渡辺玲子、小林孝司、篠塚正雄、浜川牧子、川野由香、李龍哲、山岸三千代、田上清乃
23	川口病院女子急性期病棟における家族療法への取り組み～統合失調症の家族療法～	川口病院東2階病棟 ○村田菜穂子、小原登世子、鈴木一彦、有泉洋子、高橋太郎

13:25～13:30 質疑応答(5分)

第5部 研究発表V

13:30～13:58 発表(各7分)

座長 有泉 洋子(川口病院総師長)

	演題	演者
24	ポジティブ心理学における三行日記を用いたうつ病患者へのアプローチ	戸田病院第8病棟 ○古谷マリ、矢作翔平、横山美咲、熊田健一、鈴木陽介、石田清子、井口喬
25	新しい非薬物療法への取り組み～認知症患者の周辺症状に対するアロマセラピー効果～	川口病院1階病棟 ○岸沢恵美、大川紀子、新村由紀子、有泉洋子、有泉洋子、高橋太郎
26	NEARの効果測定～BACS-Jとバウムテストの経過を通して～	川口病院心理室 ○本橋友明、太田学、高橋太郎
27	NEARの初回導入例～新しい非薬物療法の夜明け～	川口病院NEARプロジェクトチーム ○押領司朋子、佐藤悦子、有泉洋子、阿部守弘、太田学、有泉洋子、高橋太郎

13:58～14:03 質疑応答(5分)

14:03～14:13 休憩(10分)

第6部 学会長指定発表および医局発表

14:13～14:36 発表

座長 櫻井 敬二(戸田病院 事務長)

	演題	演者
28	コミュニケーション能力に焦点をあてたプログラムの取り組み	戸田病院ダイケア ○萩原あずさ、下田ちあき、山西佑紀、古久保桃子、宮坂恵子、工藤謙太郎、石田清子、井口喬、目黒克己、高橋太郎
29	当院において診断しえたまれな認知症原因疾患	戸田病院医局 ○水野智之、井口喬
30	統合失調症を発症した一卵性双生児の症例についての比較と考察	川口病院 医局 ○古田土明久、太田学、高橋太郎

14:36～14:40 質疑応答(4分)

14:40～14:55 休憩(15分)

第7部 学会長講演 (50分)

座長 矢内 好(川口病院 事務長心得)

14:55～15:45

学会長 理事長・川口病院院長 高橋 太郎

演 題「精神科イノベーションの選択肢 生き残るための経営戦略」
～2025年を見据えて～

15:45～16:00 休憩(15分)

第8部 特別講演

座長 高橋 太郎(高仁会 理事長)

16:00～17:00

和光市 保険福祉部長
東内 京一 先生

演 題 「平成30年からの介護保険事業計画・地域医療ビジョンからなる地域包括ケアについて」

■閉会の辞 中村 育博(事業サポートセンターセンター長兼財務部長)

<審査会 17:00～17:30>

◆自由討論会 17:45～19:00(於:新館5階コスモスホール)

※質疑応答は各研究発表後にまとめて行ないます。